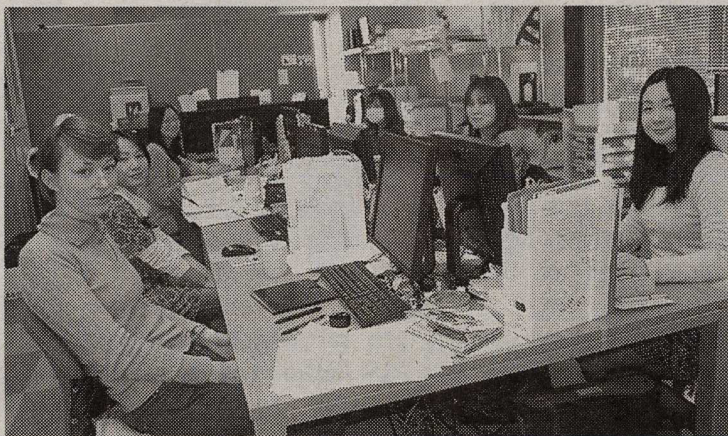


# 名古屋経済

◇ボナンザメイド・イン・ナゴヤが靴オーダーフェア◇  
ボナンザメイド・イン・ナゴヤは11日、名古屋市中区栄3の18の1・ナディアパークデザインセンタービル4階の国際デザインセンタークリエイターズショッ

プ・ループで「靴のオーダーフ  
名古屋の靴作りの職人が手作  
た靴。上質な本革を使用した靴  
今後、4月15日、5月13日に

Nagoya B



初めて海外インターンシップ生を受け入れたハッピーチャイルドの社内（写真左端がカロリーナさん）

アイセックは、国際大学、南山大学などの社会を担うリーダーの学生が参加している。人に出る目的に、世界100カ国での国や地域で活動している。日本法人は、62年に設立され、行われるインターンシップ生は、今年で50周年を迎える。東海3県では、名古屋大学と名古屋市立生51人、海外からの受

## 海外就業体験 受け入れ倍増

### 名古屋でも 企業前向き 来年度は30人に

と、約1・8倍に増える。来年度は、受け入れを学ぶ海外インターン

世界最大の学生団体の日本組織、アイセック・ジャパン（事務局＝東京都）が行う海外インターンシップ（就業体験）交換事業が、名古屋で盛り上がりを見せている。11年4月から12年3月までの11年度に受け入れ可能な海外イン

### アイセック・ジャパン

ターンシップ生は前年度の2倍以上にあたる14人に達する見通し。来年度は30人を目指している。企業にとっても、社内の活性化や従業員のモチベーション向上につながるという。

（山田和幸）

受け入れ、送り出し人数ともに増え、合計130人を目指している。幼児向け玩具や教材の企画販売を手掛けるハッピーチャイルド

### 一体感とやる気アップ

シップ生、カロリーナさん（28）を初めて受け入れた。3カ月間のインターンシップ期間を終え、広島大三社長は「会社一体感が生まれ、社内の雰囲気は良くなった」と語る。従業員からは「意思疎通を行うため、英会話を学ぶモチベーションが生まれた」「アーティストを目指していた頃の初心を思い出した」など前向きな意見が聞こえた。

来年度以降、海外インターンシップ生を受け入れる企業数は、さらに増える見通し。すでに、10人以上の新規受け入れを検討している。

### 中部圏に観光客取り込め

### 「昇龍道プロジェクト」 中部運輸局など設立総会



推進協議会設立の目的を説明する中部運輸局の甲斐正彰局長（中央）

設立総会を開き、中部9県の行政や観光関係256団体から296人が参加した。

中部、北陸信越の両運輸局は今年1月、能登半島を龍の頭に見立て、中部北陸9県の観光エリアを「昇龍道」と名付けた観光推進プロジェクトを発表した。中部圏へ主に中国や台湾からの観光客を取り込むのが狙い。

中部運輸局などは9日、名古屋マリオット「昇龍道プロジェクト」の